



# 妙安寺だより

テレフォン法話 092-751-6084

## 仏事の基礎知識 ③ 位牌と数珠

**位牌**は、死者の霊をまつるために、板に法名を記し、各家庭の仏壇に安置して礼拝供養をします。表に戒名（法号）、裏に没年月日・俗名・年齢などを書きます。

位牌を新調する時は、仏壇の大きさ、御本尊と釣り合うように心掛けなければなりません。

**念珠（数珠）**は、昔ある国王が仏に対し「煩惱を消滅する良い方法はあるまいか」と尋ねたのに対し、仏は「むくろじの実を百八個連ねて一連とし、南無仏・南無法・南無僧と唱えて一個ずつ繰り、これを飽きずに繰り返せば、自ずから百八の煩惱が消えて、福を得ることができるであろう」と教えたのが、数珠の起源だといわれている。

数珠を手に入れば、自ずから悪心を抑える心持となる「戒」の徳が働くものです。

なお、数珠は揉むものではありませんので注意して下さい。

## 中国旅行記 1 北京市内の世界遺産を歩く

2月23日から27日まで、「万里の長城縦走ウォーキングと北京の世界遺産を歩く5日間」のツアーに、夫婦で参加しました。

**2月23日** 午後3時10分福岡発、中国国際航空にて北京へ。途中、大連にて入国手続きのため一旦降機。北京には午後7時30分（日本時間）に到着。夕食後ホテルへ。（以降の時間は現地時間）

**2月24日** 午前8時30分ホテルを出発し天壇公園へ。ガイドの方雷さんの話によると、「今は正月休みで車も少なく順調です。この公園や天安門広場には、地方からの人が多いですよ」と。公園では、コーラスやダンスに興ずる人や毛鞠をするグループの人が多く見られました。

さすがに風が冷たく手袋をつけ、少し厚着をして、天壇公園の東門から西門へ向けてウォーキングの開始。さらに北京の町を歩いて天安門広場へと向い、天安門に登城すると広場は一望に見渡すことが出来、さすがに広い広場です。

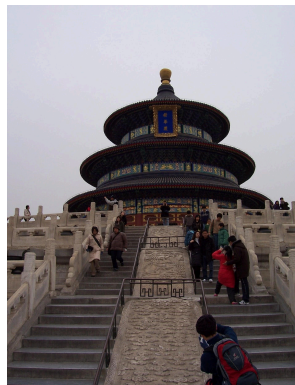
昼食後は、紫禁城といわれた故宮博物院の中を散策し、景山公園まで7時間のウォーキング。さすがに疲れました。

### 〔天安門と紫禁城〕

天安門広場は、北京の中心にあり、1958年に11万平方mから40万m<sup>2</sup>に拡張され、50万人を収容できる世界最大の広場。天安門は、高さ33,7mの二重の城門楼で明清時代の皇城の正門でした。広場の周囲には、毛沢東記念堂・人民大会堂・革命博物館が建っている。

また、紫禁城（故宮博物院）は、歴史書「周礼」をもとに建造された場所。東西735m、南北960m、周囲を10mの高さの塀で囲まれた敷地には、1万弱の部屋がある。

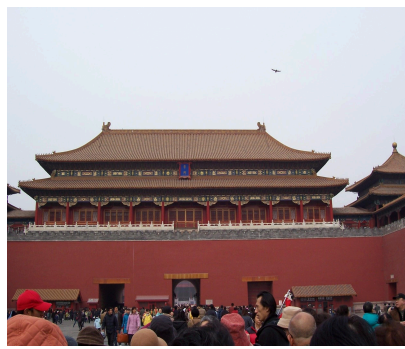
所蔵の宝物の多くは、戦時中に台湾の故宮博物館に運ばれている。



天壇公園の祈年殿



天安門広場と天安門



紫禁城の午門

※2月9日に福岡市博物館の「福岡市史編纂委員会」事務局の職員が、また3月9日には熊本県立美術館の「熊本城築城400年記念展」実行委員会の職員が、当山開山可観院日延上人について調査に来寺。

特に、熊本県立美術館の学芸課の方から、記念展の展示（平成19年10月12日～11月25日）に、開山上人の御尊像と御曼荼羅の展覧を要請されました。

